

2005年3月期個別決算における特別損益の計上について

株式会社日立製作所（コード番号：6501、執行役社長：庄山 悦彦、以下 日立）は、2005年3月期の個別決算において、関係会社株式売却益、事業構造改善特別損失及び減損損失を特別損益に計上する予定です。

1. 関係会社株式売却益の特別利益への計上

関係会社株式の売却益約418億円を特別利益に計上する予定です。

2. 事業構造改善特別損失の特別損失への計上

プラズマパネル事業に係る関係会社である富士通日立プラズマディスプレイ(株)株式の評価損及び国内デジタルメディア事業の構造転換を目的とした事業再編・整理・軽量化等の施策の実施に伴う費用を中心とした、事業構造改善に係る損失約462億円を特別損失に計上する予定です。なお、富士通日立プラズマディスプレイ(株)株式の評価損には、プラズマ事業強化の一環として2005年3月に実施した増資分を含めて算定しています。

3. 減損損失の特別損失への計上

賃貸目的に変更した共用資産に係る回収不能見込み額及び使用する予定がなくなり売却を予定している資産を中心とした減損損失約198億円を特別損失に計上する予定です。

以上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
